

2021年北九州港の貿易概況

区分	全国	九州経済圏	福岡県	北九州港	全国に占める構成比
輸出総額	83兆914億円(+21.5%)	8兆8,784億円(+19.0%)	5兆5,526億円(+15.1%)	1兆3,729億円(+16.9%)	1.65%
輸入総額	84兆7,607億円(+24.6%)	7兆4,402億円(+35.7%)	2兆8,585億円(+24.8%)	1兆2,181億円(+39.6%)	1.44%
輸出入総額	167兆8,521億円(+23.0%)	16兆3,186億円(+26.0%)	8兆4,111億円(+18.2%)	2兆5,910億円(+26.6%)	1.54%

2021年の北九州港（北九州空港含む、以下同じ。）の貿易実績は、輸出総額が前年比16.9%増の1兆3,729億円、輸入総額が前年比39.6%増の1兆2,181億円、輸出入総額が前年比26.6%増の2兆5,910億円となり、いずれも3年ぶりに増加した。貿易収支は1,548億円の黒字となり、7年連続で黒字となった。

輸出に関して、品目別では、鉄鋼、一般機械、ゴムタイヤ及びチューブ、有機化合物、電気機器の上位5品目で8,584億円と全体の62.5%を占めている。前年と比較すると、前年第2位の鉄鋼（前年比50.5%増）が7年ぶりに第1位となったほか、前年第5位の有機化合物（前年比29.1%増）が第4位へ順位を上げ、代わりに前年第1位の一般機械（前年比28.2%減）が第2位に、前年第4位の電気機器（前年比7.7%増）が第5位に順位を下げた。このほか、前年第7位の食料に適さない原材料（前年比78.8%増）が第6位に、前年第8位の非鉄金属（前年比75.3%増）が第7位に順位を上げている。

国（地域）別では、中華人民共和国が前年比6.3%減の4,217億円で、21年連続の第1位となった。第2位は大韓民国で前年比18.4%増、第3位は台湾で前年比71.4%増、第4位は米国で前年比13.9%増、第5位はタイで前年比72.9%増となった。前年と比較すると、前年第4位の台湾が第3位に順位を上げ、6年ぶりに上位3カ国を東アジアが占めた。またタイも前年の第6位から第5位へ順位を上げている。なお、上位5カ国への輸出額8,427億円は全体の61.4%を占める。

地域分類別では、東アジア主要地域（中華人民共和国、大韓民国、台湾、香港、ASEAN10カ国（ベトナム、タイ、シンガポール、マレーシア、ブルネイ、フィリピン、インドネシア、カンボジア、ラオス、ミャンマー））への輸出額9,303億円は、全体の67.8%（前年比3.1%ポイント低下）を占めている。輸出額は前年に比べて、全ての地域（アジア、大洋州、北米、中南米、西欧、中東欧・ロシア等、中東、アフリカ）で増加した。

輸入に関して、品目別では、電気機器、輸送用機器、石炭、天然ガス及び製造ガス、鉄鋼の上位5品目で5,285億円と全体の43.4%を占めている。前年と比較すると、前年第5位の石炭（前年比104.9%増）が第3位に、前年第7位の鉄鋼（前年比62.8%増）が第5位に順位を上げ、代わりに前年第3位の一般機械（前年比0.6%増）が第8位に順位を下げた。

国（地域）別では、中華人民共和国が前年比24.6%増の3,981億円で28年連続第1位となった。第2位はオーストラリアで前年比119.2%増、第3位は大韓民国で前年比14.1%増、第4位はタイで前年比32.7%増、第5位はロシアで前年比115.5%増となった。上位5カ国の輸入額7,271億円は、全体の59.7%を占める。

地域分類別では、東アジア主要地域（中華人民共和国、大韓民国、台湾、香港、ASEAN10カ国）からの輸入額7,513億円は、全体の61.7%（前年比8.4%ポイント低下）を占めている。輸入額は前年に比べて、全ての地域（アジア、大洋州、北米、中南米、西欧、中東欧・ロシア等、中東、アフリカ）で増加した。

北九州港の最大貿易相手国は、21年連続で輸出・輸入ともに中華人民共和国であり、輸出入総額で見ると全体の31.6%を占めるが、これは前年より6.0%ポイント低下している。

図－1 北九州港の貿易額の推移

